

ダムカレーで試行する水源地振興 —白峰地域での手取川ダムカレーの開発—

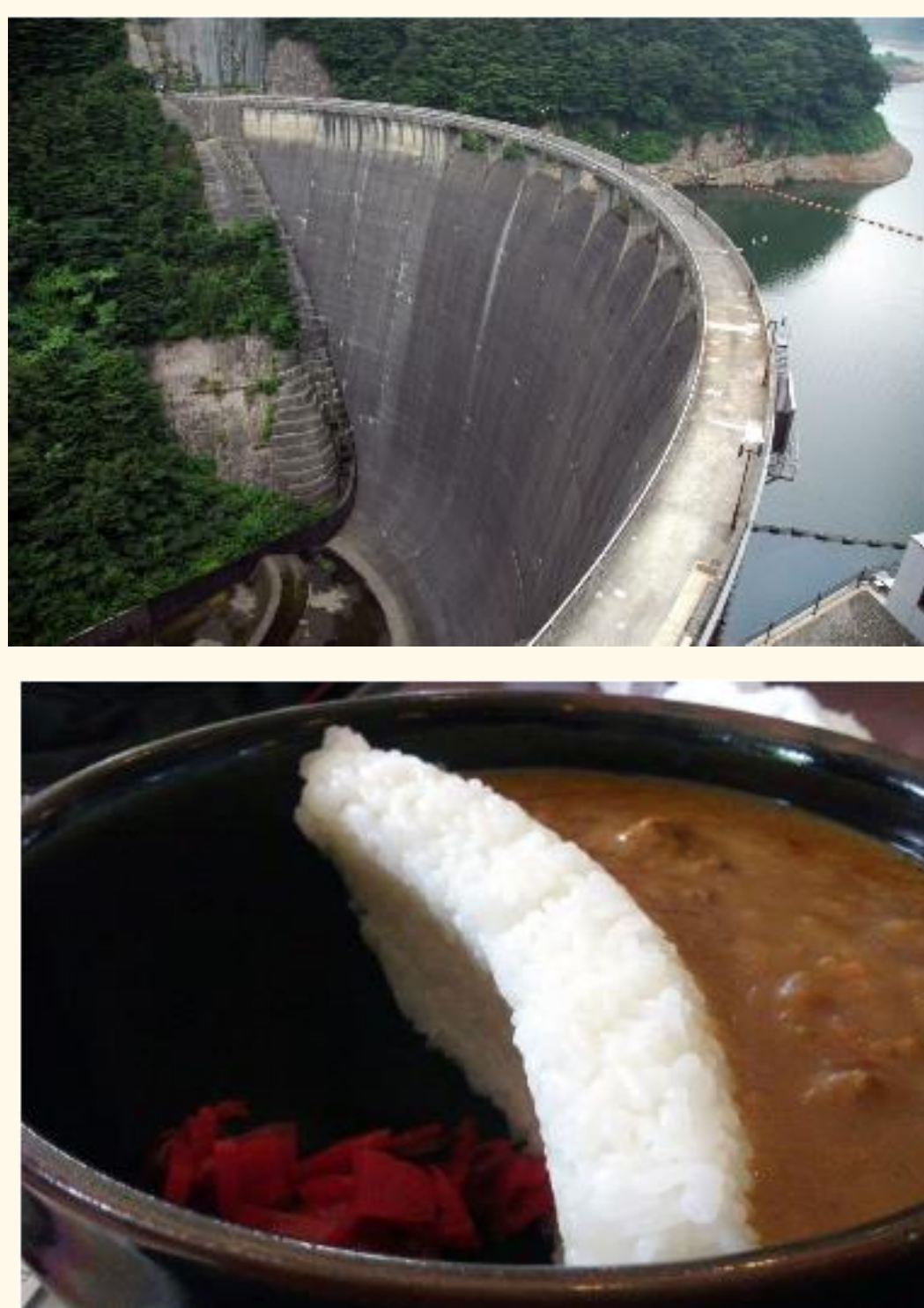
坂本 貴啓（東京大学 地域未来社会連携研究機構 北陸サテライト），永吉 睦（雪だるまカフェ），土屋 香奈（トラベルフォトライター）

きっかけ

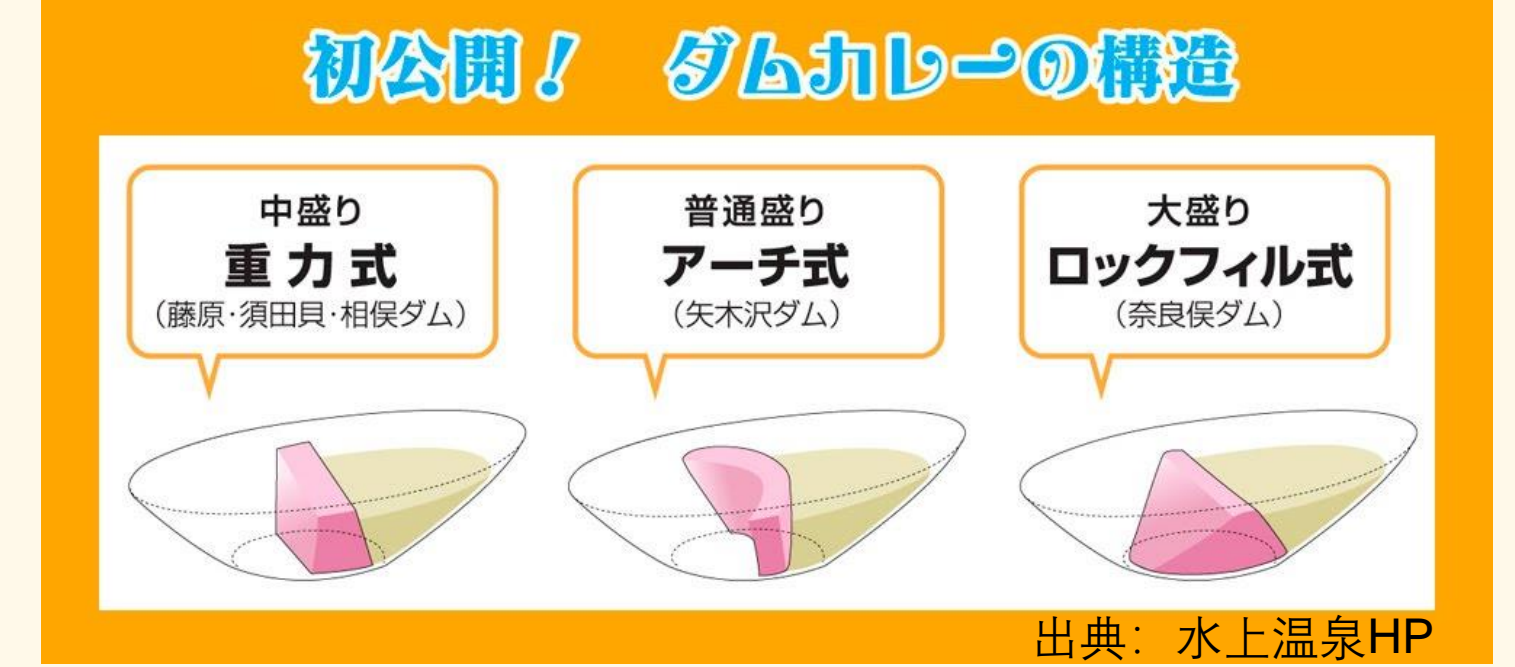


- 手取川ダムは石川県の水資源需要を支える重要な水がめ
 - 水源地域の地域振興・観光に活かしていく地域資源
 - 全国各地ダムカード，ダムカレーを通じ新たな観光層を獲得している地域もある
 - 下流域に手取川ダムカレーはあるが，水源地（白峰・桑島・尾口等）にはまだない
- 水源地振興の一環で手取川ダムカレーを開発し，白山麓の観光資源に！

ダムカレーとは？



観光・水源地振興に一役

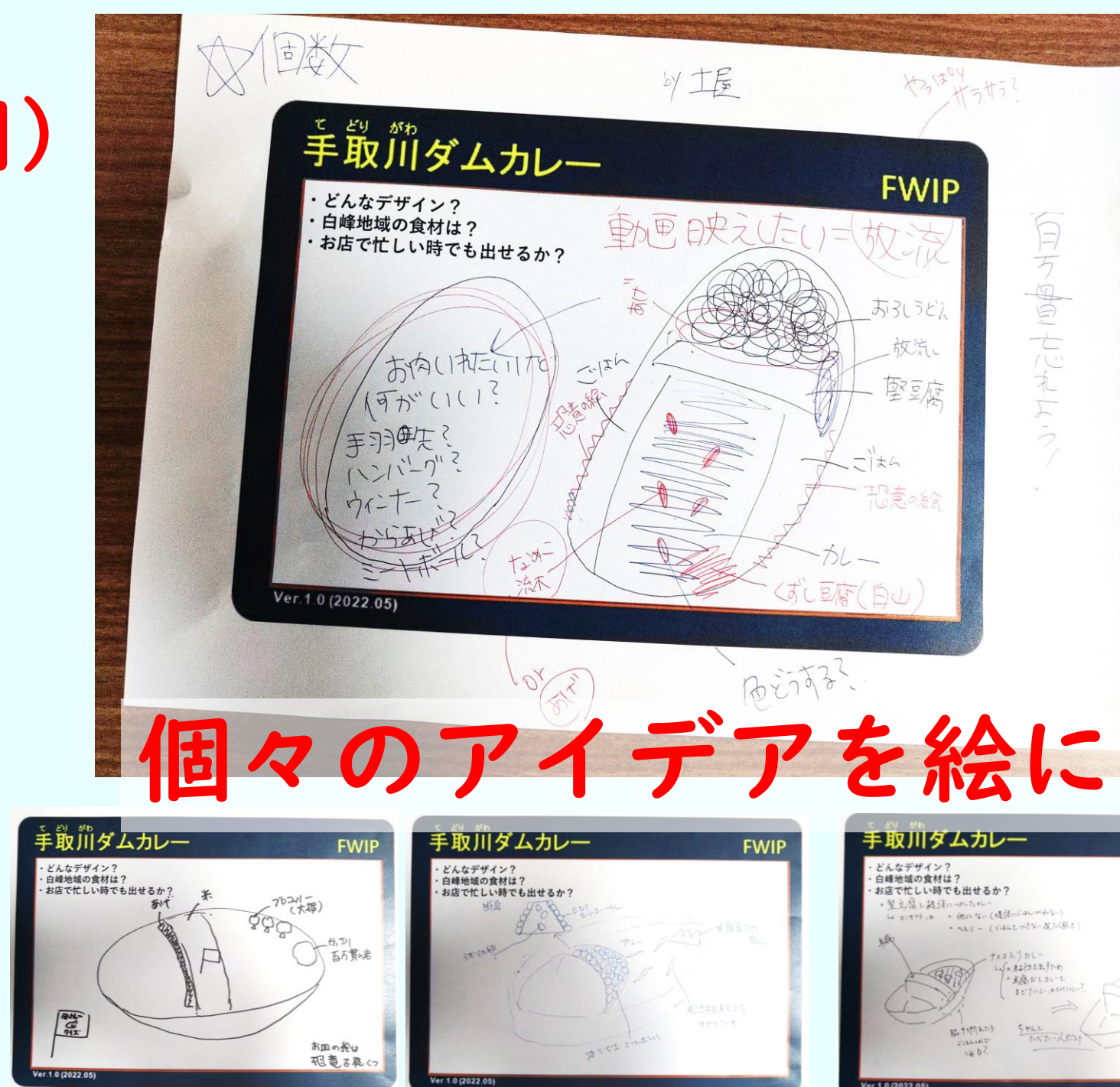


手取川ダムカレーワークショップ (2022年7月26日実施)

地元建設会社の方々の構造表現に関するアイデア，地元のお母さん達の食材に関するアイデアなどが飛び交った。そのほかにもダム管理支所長，ダムカレー販売実績のあるお店の方，ダムカレー皿の陶芸家の方々にも集まってもらった。

建設時から地域とともにつくる (※工法は「住民参加型建設」を採用)

- どんなデザイン？ (デザイン目線)
- 白峰地域の食材は？ (地域特産目線)
- お店で忙しい時でも出せるか？ (作り手目線)



手取川ダム管理支所に協力いただき，ダムの構造を解説いただいた。



こだわり技術・素材

- 【桑島化石壁】→厚切りベーコン
- 【ロックフィル堤体】→カレー粉をまぶしたご飯
- 【周辺の風景】→ダムカレー皿に描いている
- 【ダム下流の木々や流路】→季節の野菜
- 【ダム湖のグリーン】→ほうれん草入リルー
- 【流木】→油揚げ
- 【建設】→特製スコップスプーン
- 【霊峰白山】→堅豆腐
- 【恐竜の足跡化石】→堅豆腐おからハンバーグ

カレーを食べ終わると当時の桑島集落が現れる (移転者への感謝・想いを馳せる)

白山焼きのカレー皿の絵は陶芸家の方に依頼 (恐竜，雪だるま，白山など)

ダムカレーを食べた人に手取川ダムカレーカードをプレゼント

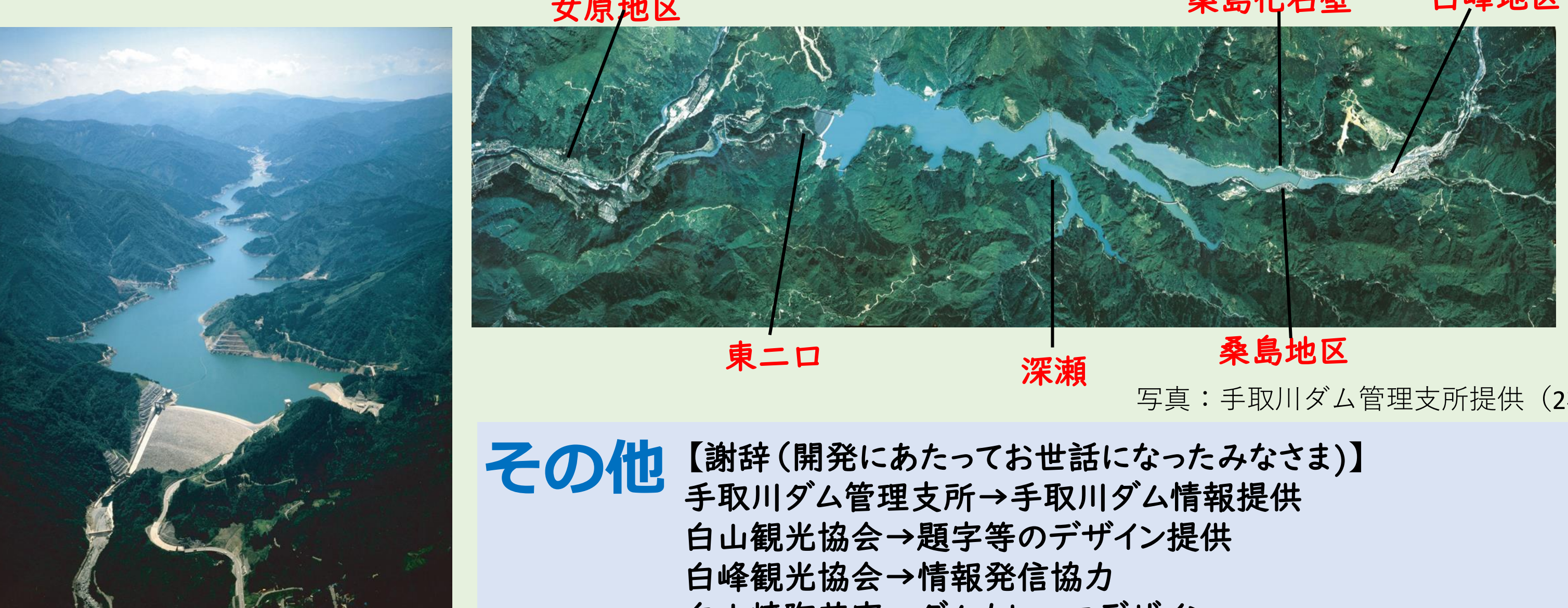
手取川スコップスプーン お土産としても販売予定

手取川ダムカレー完成までの道のり

計画構想	2022年4月
手取川ダム見学会	2022年5月18日
先進地ダムカレー試食	2022年7月14日
ダムカレーワークショップ	2022年7月26日
関連グッズ開発	2022年8月開始
試験湛水 (撮影・試食会)	2022年10月15日
手取川ダムカレー竣工式 (お披露目会)	2022年11~12月
一般公開 (販売開始)	2022年12月

手取川ダム諸元

堤体所在地：石川県白山市東二口地先
 河川名：手取川水系手取川
 目的：治水，水道用水，工業用水，発電用水
 形式：ロックフィル式
 堤高／堤頂長／堤体積：153m／420m／10050千m³
 流域面積／湛水面積：428.2km² (直接：247.2km² 間接：181km²)／525ha
 総貯水容量／有効貯水容量：231000千m³／190000千m³
 ダム事業者：北陸地方建設局 (電源開発 (株))・石川県
 着手／竣工：1970／1979
 ダム湖名：手取湖 (てどりこ)



【謝辞 (開発にあたってお世話になったみなさま)】
 手取川ダム管理支所→手取川ダム情報提供
 白山観光協会→題字等のデザイン提供
 白峰観光協会→情報発信協力
 白山焼陶芸家→ダムカレー皿デザイン